



今年度の活動もあと少しになりました。新たなスタートを迎える子どもたちをあたたく見守りたいと思います。

## コラム

## 節目の時を迎えて

～安心・安全な気持ちに支えられること～

令和4年(2023年)4月に青少年交流文化館いぶきでの活動を始めて2年間を終えようとしている今、ようやくこの居場所に馴染んできたように思います。

年度末にあたり、3月8日に子どもたちとの節目の時間「エールを送る会」を計画しています。創造活動では、どの子どもたちも年度単位で活動を締めくくり、新年度の学校での新たな始まりに挑戦してほしいと考えています。そのために、この会で仲間と共に過ごした時間を振り返り、節目を意識する声掛けをしています。

1月に実施した「保護者全体懇談会」で、十数年前に通っていた創造活動経験者と保護者の声を聴く機会を持ちました。当事者の青年は、小学校低学年からの長い不登校期間を経て中学2年生の時に、“このままではだめだ、将来のために高校に行きたい”と思うようになったそうです。そして、そのために中学3年生では、教室で学ぶことをめざそうとしました。担任の先生や同級生の温かい受け入れ態勢もあり、少しずつ教室復帰できたことを語ってくれました。

また保護者の方は、心身ともに不安定な子どもを前にしながら不登校状況を責めることなく、子どもの気持ちを聴き、寄り添い続けたとのことでした。

今の創造活動参加の児童生徒からも次のステージでの新しい生活をめざして頑張ろうとしている姿が見受けられます。

“学年が変わる”“小中学校を卒業する”という大きな節目の時に“考え、悩み、折り合いをつけて自ら結論を出す作業”が子どもたちにとって必要だと思います。大人は自身の経験から様々なアドバイスをすることは当然ですが、その後は“子どもたち自身で決定できる”ように導いてほしいと思います。

自分の思うように進まないこともたくさんあります。そこで、「もう、おしまいだ!」と言って絶望せずに再考できる子どもに育てて欲しい、困った時に、助けを呼べる子どもになってほしい。

大人たちが、子どもにとって必要な分だけ手助けをする中で、子どもたちは試行錯誤を続けながら、たくましく生きていけるのだと考えています。

子どもが外に向かって踏み出すための安全基地である大人の存在が必要で、その基地が子どもにとって信頼できるものだと確信できれば、子どもたちは、一人での航海に出て行けるのだと思います。

寒く厳しい冬から、心躍る春へ。

子どもたちの旅立ちを心から願っています。

## 二学期終わりの会 ～12月8日(金)～

2学期の終わりを締めくくる「終わりの会」を12月8日に実施。31名の子どもたちが2学期を振り返る作文を書いた後に、個別に面談をして困っていることや今後について話し合いました。面談の待ち時間には、創造活動オリジナルかるたを作りました。昼食の後、ふれあい緑地の軽スポーツやレクリエーションをしました。仲間と遊ぶことの面白さを味わうとともに、作文や面談で自分をみつめる時間となりました。

## 三学期始まりの会 ～1月5日(金)～

3学期「始まり会」を、学校の始業式よりも早い1月5日に23名の参加者とともに、「今年の抱負」を墨でたためました。言葉選びに苦戦しながら書初めを終えた後、カードゲームをしました。最後のレクリエーションも大盛り上がりで、楽しい活気ある始まりの会になりました。

## 館外活動 中山ハイキング1/19(金)

21名の子どもたちが、参加しました。天気にも恵まれ、汗ばむ陽気のなかのハイキングでした。休憩時間にはお菓子を食べながら話をしたり、ソフトバレーボールをしたりする姿が見られ、和気あいあいと過ごしていました。下山の際に足をくじいた生徒に、中学生が励ましの声をかけながら無事下山しました。子どもたちからも「登りはきつかったけど楽しかった」「お菓子を食べながら、話をするのが楽しかった」などの感想を聞くことができました。

## やすらぎタイム(金曜午後) ～一年を通して～

**茶道：**お点前を通して、おもてなしの心を学びました。自分や仲間にお茶を点て、お茶菓子を食べるなどほっこりした時間を過ごしました。

**乗馬：**今年度は6回行いました。大きな馬に乗ると目線が上がり、緊張感とともに、普段とは違う景色が見られて貴重な体験になりました。

**SST(ソシヤルスキル・トレーニング)：**社会で人と人との関わりながら生きるためのスキルを身につける練習で、ネコのイラストの表情から気持ちを言葉で表現したり、イライラや不安とつきあう方法を話しあったりして、自分を見つめ、他者を知る機会になりました。



## 第3回保護者全体懇談会 ～1月27日(土)～

今年度最後の全体懇談会でした。今回は、以前創造活動に通っていた生徒の保護者にお越しいただき、当時のお話をうかがいました。ご自身の経験から親の役割として、環境を整え、黙って見守り、子どもの生きていく力を信じるのが大事なのではないかと語られました。多くの方が共感し、その言葉の重みを感じておられるようでした。

後半のグループ別交流では、子どもを支える保護者も元気でいようという声があくつもあり、伊藤アドバイザーからも、「気分転換など自分の時間を持つことに後ろめたさを感じないで」とアドバイスがありました。保護者同士がつながるよい時間となりました。

## 3月のお知らせ

### 7日(木) エールを送る会準備 10時～12時半

ともに過ごした仲間やスタッフ、学生カウンセラーとゲームや翌日の会の準備をします。そして、個々に面談をしながら次の居場所に向かっての総仕上げをします。

### 8日(金) エールを送る会 10時～12時

1年間の活動の節目の式です。スタッフ、指導員の先生、学生カウンセラー、保護者とともにいきます。

当日出席の児童生徒は9時30分登館です。

### 15日(金) 中学校卒業式

### 18日(月) 小学校卒業式



## 来年度にむけて

今年度のプログラム活動は3月8日(金)まで、学生の訪問活動は3月末日までとなります。個人援助活動終了日は個々にお知らせします。学年がかわる節目を次のステップへ踏み出すチャンスととらえ、創造活動での援助は年度ごとを区切りにしています。クラスや学校が変わってがんばってみたいけれど…という場合は、あらためて児童生徒課創造活動係にご連絡ください。